

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.O	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	4年	派遣国	スペイン
派遣大学	ナバラ大学		
期間	2022年9月1日～2023年6月30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (7万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	4万円	外食だと結構高い
学用品購入費	5千円	教科書等
交通費	1万円	パンプローナから旅行行く際のバス
交際費	1万円	
その他	2万円	洋服や日用品

合計

8万5千円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

マドリードやバルセロナと比較して、落ち着いている地域であった。お年寄りや学生が多い印象である。特に、スリなどの被害に遭ったこともなく、聞いたことがなかった。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(1000) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	ACUNSA		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(10万) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (バンプローナ)
住民のほとんどが定年退職後のお年寄りといった印象であった。昼間にバルやレストランで友人と食事していたり、夫婦で犬を連れて公園を散歩していたり、穏やかな地域である。スーパーや大学病院もあるので、生活に困ることがなかった。バスで 15 分ほどで、La MOREA というショッピングモールがあるので、そこで買い物もできた。旧市街までは徒歩 15 分ほどで行くことができ、公園や教会、バルめぐりを楽しむことができた。木曜の夜は、みんなでバルに行く習慣があるので、混雑していた。若者だけでなく、お年寄りもこの習慣を楽しんでいた。アジアのスーパーもあったので、少し高価だが、日本食を買うことができた。日本食レストランもあった。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ナバラ大学	所在地	パンプローナ
最寄空港	パンプローナ空港	空港からの距離	車で 15 分
空港⇄大学	タクシーで 15 分		
学生数	11,180 人	留学生数	681 人
学部	<p>法学部、教会法学部、神学部、哲学部、人文科学部、経済学・経営学部、IESE ビジネススクール、工学部、建築学部、医学部、薬学部</p> <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>法学部</p> <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	国際貿易	スペイン語発音と会話	国際貿易	スペイン語発音と会話	世界政治
午後	スペイン語 B1.2		スペイン語 B1.2	世界政治	ボランティア

② (1)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	スペイン映画社会学	スペイン語文法	スペイン映画社会学	スペイン語文法	
午後	スペイン語 B2. 1		スペイン語 B2. 1		ボランティア

3. 履修内容

科目	国際貿易		
履修期間	2022年9月～12月	単位数	6
授業内容／形態	国際貿易とは何か、なぜ貿易をするのか。経済的影響はなにか。		
成績	可		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	世界政治		
履修期間	2022年9月～12月	単位数	
授業内容／形態	グローバル化の背景、経済、社会へ与える影響について。 毎週リーディング課題がある		
成績	不可		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	スペイン語 B1.2		
履修期間	2022年9月～12月	単位数	
授業内容／形態	スペイン語の書く、話す、聞く、読むの4技能を学ぶ 事前にテストを受け、クラスが決まる。		
成績	優		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	スペイン語 発音と会話		
履修期間	2022年9月～12月	単位数	
授業内容／形態	スペイン語での発音について学ぶ。一つのトピックに関する会話や議論が多め。		
成績	秀		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	社会学		
履修期間	2023年1月～6月	単位数	
授業内容／形態	理論だけでなく、古典的思想や方法論について学ぶ。研究の進め方についても学ぶ。		
成績	可		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	スペイン映画		
履修期間	2023年1月～6月	単位数	
授業内容／形態	スペインの映画の分析をする。カメラの角度や動き、音楽など様々な方面から映画を考察していく。映画の批評や口コミも使うので、難しい単語が多い。人数は8人程度と少人数。		
成績	秀		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	スペイン語 文法		
履修期間	2023年1月～6月	単位数	
授業内容／形態	文法をメインにしつつ、実践として会話やライティングも行う。文法では、過去形、命令形、接続法など全てを取り扱う。毎日課題が出る。		
成績	優		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	スペイン語 B2.1		
履修期間	2023年1月～6月	単位数	
授業内容／形態	読み書き、聴く、書くの4技能を満遍なく行う。人数は14名程度で、フランスやカナダ、中国など国際色豊かである。毎日文法などの課題が出る。ニュースや記事を読んで、まとめ、意見を述べたり、ペアでロールプレイをする。		
成績	優		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	M.O	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	4	派遣国	スペイン
派遣大学	ナバラ大学		
期間	2022年9月～2023年6月		
プログラム	交換留学		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	国際貿易
講義内容	国際貿易とは何か、なぜ貿易をするのか。経済的影響はなにか
科目	世界政治
講義内容	グローバル化の背景、経済、社会へ与える影響について。 毎週リーディング課題がある
科目	スペイン語 B1.2
講義内容	スペイン語の書く、話す、聞く、読むの 4 技能を学ぶ 事前にテストを受け、 クラスが決まる。
科目	社会学
講義内容	理論だけでなく、古典的思想や方法論について学ぶ。研究の進め方についても 学ぶ。
科目	スペイン映画
講義内容	スペインの映画の分析をする。カメラの角度や動き、音楽など様々な方面 から 映画を考察していく。映画の批評や口コミも使うので、難しい単語が多い。 人数は 8 人程度と少人数。
科目	文法
講義内容	スペイン語の文法についてスペイン語で学ぶ。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

スペインを選択して良かったと思う。マドリードの空港に着いた際に、聞こえてくる言語はスペイン語のみという環境に感動したことは忘れない。自分のスペイン語が通じた際の喜びも覚えている。とはいえ、実際に住んでいき、スペイン語の講義となると、自分のスペイン語力の不足を痛感した。英語での講義も履修し、友達との会話はほとんどが英語だったため、英語とスペイン語で頭が混乱することがあった。それでも、英語に頼るのではなく、スペイン語を生活で使おうと努力した。一度の留学で、英語とスペイン語を学べたことは良かった。とはいえ、ネイティブレベルになった訳でもない。むしろ、わからない単語や表現を自分の持っている知識で伝えられるのかというコミュニケーションスキルが身についた。理由書にも記載したが、いろんな地域で話されているスペイン語、そして英語を通して、より多くの人とコミュニケーションが取ることができた。また、今後もこれを生かして、会話することができるだろう。

個人的にスペイン人の性格が好みであった。どこへ行っても、Hola,¿Qué tal?と声をかけてくれる。拙いスペイン語でも理解しようとしてくれて、困っていると真摯に助けてくれた。昼間からお酒を飲み、休暇で旅行するため、お休みすると張り紙するお店が多かったり、知っている日本語を話してくれたり、常に陽気で明るく、自由に生きている感じがした。一方で、日本、日本人は閉鎖的で、何かに縛られているという感覚もあった。これは、スペインだけでなく、留学で出会った友達との会話でも感じることもあった。

留学を通して良かったことは、世界中の多くの友達と出会えたことである。志願した理由の一つでもあるが、ナバラ大学には沢山の留学生がいた。アジアから南米まで、世界中の人と知り合えた。会話する中で、文化や政治、進路(就職か大学院)など様々な違いを知ることができ、日本について改めて考える機会になった。中には、日本語を勉強してる、日本食が好き、アニメが好き、旅行に行きたいなどと伝えてくれて、日本人として嬉しく思った。帰国する際は、4カ月(1セメスター)というたった短い期間だったけれど、心から寂しいと思えるくらいの存在になっていた。もうスペインで共に勉強することはないけれど、また、お互いの国で会いたいと強く思った。これまで、あまり知らなかった国へ訪れるきっかけにもなり、留学自体が終わっても、こういった機会を与えてくれた留学は自分にとって大きいものとなった。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

スペイン語の維持向上を目指したい。留学先では、B2レベルのスペイン語を受けてきた。留学が終了するからと、学習をそこで終わらせず、個人でできる学習を続けていきたい。また、DELEB1は昨年取得したので、B2の獲得を目指し、学習に励みたい。4技能のテストがあるので、留学時に使っていた資料を復習したり、友達と会話することで対策していきたい。

卒論の執筆に励みたい。また、テーマは未定だが、社会学を専攻しているので、留学したからこそ、第三者の視点で日本社会を考察できると考えている。また、スペインに留学したからこそ、日本とスペインに関連するテーマで執筆していきたいと思う。ゼミの教授は、自分の子供に伝えていきたいこと、執筆していて楽しいことを軸にしてと言っていたので、その軸を忘れずに、テーマを見つけていきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学は、申し込み前の資格獲得や理由書の準備、決定後も渡航前のビザや持ち物、言語の学習など常にやらなければならないことが多いです。それでも、これまでの準備を通して実際に留学できるというやりがい、エージェントに頼らず、自分自身で留学準備ができることは自信にも繋がります。とはいえ、留学先で何を学んで、成長したいのかは明確にすべきだと思います。実際に渡航できて、留學生活を楽しんでいても、その軸を忘れて、ずれてしまうと目的意識やモチベーションの低下にも繋がると思います。もし、留学を迷っている、関心があるならば、情報収集して、自分が留学でしたいこと、得たいことを明確にし、どの留学が適切なのか探すべきだと思います。多くの時間やお金はかかりますが、その分得るものが大きいといえます。ぜひ、自分に合った留学に挑戦してください。